

公益財団を目指し、日本を元気にする

一般社団法人アーネスト育成財団 理事長 西河洋一

明けましておめでとうございます。本日は、ご多忙のところ、令和になって最初のアーネスト育成財団の新年賀詞交歓会に、多数お集まり頂きありがとうございます。70名の方から参加の申込がありました。会場のここ「日本工業倶楽部」は、経営者の交流の場として、大正9年に竣工した成長する日本経済の象徴として、歴史的な価値ある場所です。参加の皆様には、歴史を踏みしめ、新たな飛躍を決意する場となることを願っております。

財団は「技術経営人財の育成」に取り組んで、本年8年目に入りました。設立当初から、「西河技術経営塾」「人財育成セミナー」や「各種研究会」に定期的に取り組んで参りました。その成果が、人財育成事業の全般を支えています。本日は、受講生とともに講師先生方や研究会にご参加頂いた先生方に多数ご参加頂いております。西河技術経営塾では、昨年9月に7期生を迎え、7期生を含めて30名になります。実際、塾での学びを生かし、ビジネスで顕著な成果を出している修了生も増えてきています。横浜や三鷹での出前塾を含めると、42名の修了生を輩出しております。

千葉市稲毛区の敬愛大学では、2期目となる『西河技術経営学入門』と題する寄付講座に取り組みました。「経営学」を学部の学生に教えているのに、我々が取り組んでいる「技術経営」を何故教えられていないのかという疑問からの取り組みでした。分かり易く説明をすることの知見を学びました。その成果は、教材として使える図書として、本年3月末に『西河「技術経営学」入門』と題し、芙蓉書房から出版いたします。

本日は、名刺交換や情報交換を目的に、立食パーティー形式の「新年賀詞交歓会」を企画いたしました。ビジネスを成功させるには人と人との出会いが重要です。財団は、さらに活動の幅を広げ、財団を取りまく人財の輪が昨年度に増して大きくなりました。賀詞交歓会は、それぞれが互いに顔を合わせる機会を設けようとの企画です。是非、多くの方と交流をしていただければ幸いです。

本年も引き続き財団は、誠実で、社会の繁栄に役立つ「儲ける」ことができる「税金」を払える技術経営人財を育成します。日本の社会の繁栄に欠かせない経営人財を育成する公益性のある機関として、活動し、広く理解を求めてまいります。「豊かで明るい持続的な成長をする日本づくり」に取り組みます。

(本年1月15日の賀詞交歓会での理事長挨拶から)